



第6巻 第2号
平成19年(2007年)3月23日発行日

〒520-8577滋賀県大津市京町四丁目1番1号
Phone 077-528-4131 Facsimile 077-528-4903
http://www.pref.shiga.jp/h/doro/
E-mail:ha03@pref.shiga.lg.jp

心と心をつなぐ ココロド通信 滋賀県土木交通部道路課

お知らせ

ココロド通信平成18年度第2号です。ココロド通信をよろしく願います。

「道の相談室」

(近畿地区全域)

「道」についてのご質問・ご相談にお答えします～

フリーダイヤル

ドローよくなれ

0120-106-497

ご利用時間は

9:30～17:00です。

FAX:06-4799-1262

終日利用可能です。

インターネットアドレス

http://www.kinkiroad.org/soudan/

終日利用可能です。

ココロド通信は滋賀県

ホームページでも閲覧でき

ます。

http://www.pref.shiga.jp/

h/doro/

サイクリングマップ配布

しています!!

県庁道路課、商業観光振興

課にて配布しております。

詳しくは、県庁道路課まで

お問い合わせ下さい。

街道めぐり～御代参街道 日野～

近江出身の商人を「近江商人」といいます。御代参街道が通る日野も代表的な近江商人の発祥地の一つです。日野商人は、「千両たまれば新しい店を出す」という小型経営に主流を置き、出店地は関東に集中し、大都市だけでなく地方都市にも及んでいました。また、業種に醸造業が多いことや、「万病感応丸」と呼ばれる、丸菓の製造販売という独自の商いを行っていたことなどから、他の近江商



<近江日野商人館(外観)>



<日野商人の像>



<御代参街道位置図>

人とは異なった特徴を持っていました。さらに、日野商人は、「大当番仲間」という商人組合を結成して、全国規模の商いを行っており、この御代参街道がその出発点ともいえます。「近江日野商人館」は、こうした商いによって大成した商人の旧宅を資料館として公開しています。

(日野町 企画振興課)

道の駅「藤樹の里あどがわ」紹介

平成18年(2006年)6月16日(金)に、県内14番目となる道の駅「藤樹の里あどがわ」が高島市安曇川町(国道161号沿い)にオープンしました。地元産の扇子を利用したオリジナル扇子を作る体験工房、地元特産品のアドベリー(品種名:ポイズンベリー)を使った製品をとろそろえてあります。

高島市安曇川町は、江戸初期の儒学者・中江藤樹の出身地であり、駅周辺には「中江藤樹記念館」をはじめ、中国式庭園「陽明園」、琵琶湖岸には「県立びわ湖子ども国」もあります。自然・歴史・文化に触れ、旅の疲れを癒してはいかがでしょうか。

アクセス

JR湖西線安曇川駅から徒歩10分、車で3分
名神高速道路京都東ICから1時間
北陸自動車道敦賀ICから1時間

<道の駅「藤樹の里あどがわ」外観(上)>
<道の駅「藤樹の里あどがわ」館内(下)>

第6巻 第2号

しもがさおちのいせん

～下笠大路井線踏切除却事業～

JR琵琶湖線草津駅に隣接する、県道

しもがさおちのいせん

下笠大路井線にある「開かずの踏切」下笠道踏切を廃止するため、新しく地下道を整備しています。地下道を使いやすく安全なものとするため、地元自治会、PTA、老人会、草津市民代表(公募委員)や学識経験者等と委員会を設置し、検討を行いながら事業を進め、来る平成19年4月に供用開始予定です。この地下道の完成により、自転車や歩行者の安全で円滑な交通を確保します。

(南部振興局 道路計画課)



<下笠道踏切(草津市大路)>

～「美知普請」取り組みレポート～ 活動団体を紹介します!

道路愛護活動

団体名:美しい大字マキノ・桜守の会

活動場所:高島市マキノ町

路線名:県道小荒路牧野沢線

活動内容など:

平成12年度より道路愛護活動に取り組み、道路沿いの路肩除草及び花壇づくり等に取り組んでいます。



<美しい大字マキノ・桜守の会の皆さんによる活動状況>

知ってます? 豆知識

～とるぱ～

「とるぱ」ってご存じですか?

「とるぱ」とは、写真を撮るパーキングのことと、安全な駐車場と、そこから歩いていける撮影スポットがセットになっています。「とるぱ」のホームページ(http://torupa.jp/)では、みなさんから投稿いただいた全国の「とるぱ」を紹介していますので、一度ご覧ください!滋賀県では、23風景を見ることができます。あなたもおすすめの「とるぱ」を登録してみませんか。



伊吹山のお花畑



秋のキャンパス

通れます! 開通情報

国道422号 大石バイパス

(大津市大石富川町)

平成9年度から大津市大石富川町で実施していましたが、国道422号大石バイパス事業が、平成18年(2006年)12月に完成し、2.4kmの区間のバイパスが供用開始(通行可能)となりました。今回の供用開始で、富川トンネルを含めた全3.1kmの区間のバイパスが全区間で開通となります。

このバイパスの開通より、安全で快適な走行が確保され、通過時間も約5分短縮されることになります。

(道路建設担当)



今日は何の日? ～湖西道路の開通～



平成元年(1989年)3月23日は、大津市内を通る湖西道路(仰木雄琴IC～坂本北IC)が、一般有料道路として開通した日です。その後、区間が志賀IC～坂本北IC(L=16.7km)となり、平成17年(2005年)8月1日より全線無料開放されています。